

# ぐるめ散歩

……欧風料理、ケーキ……

## ボンボニエール

旬の素材を使った季節感あふれるオリジナルの欧風料理と自家製ケーキが楽しめるレストラン。

オーナーシェフの宮脇利郎さんが作るパスタを中心とした約30種のイタリアンをベースとした創作料理と、妻の弘美さんが作る約10種のケーキを静かで落ち着いたテーブル、カウンター合わせて18席の店内で味わえる。昼は女性グループ、夜は家族連れが多いという。

じっくりと煮込んだスペアリブなどの肉料理、季節の魚介類や野菜の持ち味を生かしたパスタやピザが人気。予算



☎3480-1122 西野川1-16-5  
ウエストスクエア狛江1F 営業  
=午前11時30分～午後2時 (LO)  
/5時30分～9時 (LO)  
月曜日休み

子之権現三嶋神社  
↑仙川  
松原通の「バー」  
● 松原 ↓  
● 交通



## 季節味わう欧風料理とケーキ スイーツコンテストで最優秀賞

季節に合わせた素材を使ったものなどを提供、バレンタインデーがある2月はチョコレートケーキが好評。

下ごしらえの段階から時間をかけて調理し、ピザの生地や燻製などできる限り自



■おすすめMENU■  
料理=①スペアリブの黒こしょう焼き¥1,800 / 黒毛和牛すね肉の赤ワイン煮¥1,800 / 鴨の燻製¥550 / パスタ=②エビと菜の花のガーリックソース¥1,200 / 牡蠣のクリーム¥1,200 / ピザ=きのこソーセージ¥980 / ケーキ=③ショコラダブル¥370 / ④ガトーショコラ ¥370 / 毎のタルト¥400 (税別)

に合わせたパーティー料理にも応じている。ケーキは家製にしているという。同店は、市が主催したランチ、こま井、ヌードルの各逸品コンテストで優秀な成績を収めており、平成25年のスイーツ逸品コンテストでは「TOKYO狛江ぶりんせす」が最優秀作品賞を受賞、現在も人気の定番商品になっている。

宮脇さん夫妻は「料理とケーキを通して季節感を味わってもらえるように心がけています。新型コロナウイルス感染症対策に力を入れているので、安心して料理を味わってください」と話している。



## 初春彩る多彩な行事

狛江の新春を彩る「こま井初春まつり」が1月9日(日)に市内各所で催された。

**出初式**◆狛江市消防団の出初式は多摩川緑地公園グラウンドで催され、北睦第二区五番組・東都連若鷺会による木遣りやはしご乗りが続いて、消防団の分列行進、カラフルな一斉放水などが行われた。

会場ではFC東京クラブコ

ミュニケーターの石川直宏さんによるトークショーが人気を集めたほか、狛江消防署、調布警察署、東京ガス、小田急電鉄などの展示ブースが設けられた。また、自衛隊が会場で調理したカレーライス170食を配布したが、事前に用意した整理券は15分ほどでなくなった。

**どんど焼**◆狛江市ボーイスカウト連絡協議会が主催す

るどんど焼が3年ぶりに復活。正月飾りなどを持った多くの人が訪れた。竹やカヤなどで組んだ高さ約10mの小屋に火がかけられると、大きな炎と煙に包まれた。新型コロナウイルス感染症対策のため従来の甘酒などの配布は中止されたが、詰めかけた人たちは大きな喚声を上げながら伝統の小正月行事を楽しんでいた。

**ロードレース**◆第52回狛江多摩川ロードレース大会は多摩川堤防上の五本松付近を発着点として開かれた。レースは堤防上に設けた

1km、2km、3km、5km、10kmのコースで行われた。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止とな

り、2年ぶりの大会には小学生から高齢者まで過去最多の631人がエントリーし、過去最多の562人(完走562人)が健脚を競った。また、10kmの部には駒澤大学陸上競技部の選手3人がゲスト参加、レースを盛り上げた。沿道には家族などが応援に駆けつけ、声援を送っていた。

ランナーたちは「コロナ禍で走る機会がなかったので、久しぶりで気持ち良かった」などと話していた。



多摩川ロードレース



## 今年はリアル成人式 総合体育館で2回開催

狛江市の成人式が1月10日(日)に市民総合体育館で催され、参加した新成人たちは大人としての決意を新たにしていた。

今回は改修中のエコルマホールから体育館に会場を変更した。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、中学校学区別に分けて午前と午後の2回開くなどの対策が取られた。

今年の新成人は昨年と同じ767人で、式典には408人が参列した。

式典では、松原俊雄市長が「4月から成人年齢が18歳になるので『成人式』と呼ぶのは今回が最後となります」と語るとともに「狛江で生まれ育ったことを誇りに思い、市を愛してください」と祝辞を述べた。

その後のアトラクションでは中学校時代の写真などの

上映やスマホを使ったSNS方式のクイズも行われ、盛り上がりがあった。式典はYouTube

オンライン配信も行われたが、参加した新成人は「昨年はライブ配信だけだったが、今年はリアルで参加できてうれしい」と喜んで

いた。アトラクションは公募した新成人12人でつくる実行委員会(篠響太郎委員長)が準備を進め、当日の運営も担当した。実行委員たちは「オミクロン株の急拡大で中止する自治体もあるなかで、無事に開催できて良かった」と話していた。

## 慈恵医大第三病院へ银杏募金 狛江三中に返礼の感謝状贈る

東京慈恵会医科大学附属第三病院は、同病院に対する募金の返礼として狛江第三中学校(工藤聡校長)へ1月



感謝状を贈った第三病院管理課長(右端)と三中の生徒、工藤校長(左端)

17日(月)に感謝状を贈った。同校の生徒たちは、校内にあるイチヨウの実を利用した银杏募金の活動を平成3年から取り組んでおり、雲仙普賢岳火砕流の被災者を皮切りに東日本大震災などの被災地に贈っている。

令和元年までは狛江市民まつりの会場で生徒が募金を行ったが、翌年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止による市民まつりの規模縮小などの影響で教師が募金を行うなどの変更を余儀なくされた。そうした状況について生徒が話し合い、新型コロナウイルス感染症の最前線で働く医療機関へ募金を贈ることを決め、松原俊雄市長を通して慈恵医大第三病院へ寄付した。

31回目の今年度は、银杏が例年の3分の1程度と不作で、コロナ禍による影響もあったが、収穫から袋詰めまでの作業に全校で取り組んだ。11月に狛江駅で募金活動を行うなどして87,899円が集まり、生徒

が話し合いを行った結果、前回に続いて慈恵医大第三病院へ、狛

江市を通じて贈ることに決め、12月23日(日)に地域貢献委員の杉崎百音さん(2年)、同委員第2学年代表の長谷川誠拳さん(同)が市役所を訪れ松原市長に手渡した。

この日は、慈恵医大第三病院管理課長らが感謝状を持って同校を訪れ、校長室で地域貢献委員の杉崎さん、長谷川さん、井樋真央さん(1年)、高間そよさん(同)に感謝状を渡した。生徒を代表して長谷川さんが「募金集めの頃はコロナが少しくまっていたので、完全になくしたいという思いを込めて、慈恵医大第三病院へ贈ることにしました。いまは感染者が急増しているのでも、皆さんにがんばってほしいです」と挨拶。管理課長は「昨年の募金は新型コロナウイルス感染症の治療にあたるスタッフのために使いました。今回も有効に使わせてもらいます。当院は他の疾患の患者も見守りながら新型コロナに取り組んでいるので、こうした心遣いが励みになります。地域医療を守る基幹病院なので、皆さんの健康と命を守るための医療を変わりなく続けます」と話した。

## 音楽の楽しさや奥深さ、生で味わう

生演奏を楽しむ市役所コンサートが1月7日(金)に市役所防災センター4階で催された。

フルート奏者の島山ミツコさん、ハープ奏者の中川理実さんがヨハン・シュトラ



島山さん(左)と中川さん

ウス2世「春の声」など7曲を演奏。これまでの市役所2階ロビーから、初めて防災センターに会場を移し、新型コロナウイルス感染症対策のため定員を40人に限って催されたが、参加者は「落ち着いた音楽を楽しめた」、演奏した島山さんらは「温かい雰囲気でした」と話していた。



おんまちラボ

## つなげよう 音楽の架け橋

音楽についての知識を学ぶ講座「おんまちラボ」の2回目(1月15日)に中央公民館で催された。

「音楽とスポーツの深い関係」をテーマに、音楽の街-狛江 エコルマ企画委員会の音楽家などがサッカーやフィギュアスケート、野球

などで使われている音楽について生演奏とユーモアを折り込みながら興味深い知識やエピソードを紹介、参加者たちは熱心に聴き入っていた。

今回は3月20日(日)に「音楽のノリって何!?!」をテーマに開催される。